

2017年3月期第3四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社 マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2017年2月3日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2017年2月3日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



- I .2017年3月期第3四半期の決算及び事業の概況
- II .2017年3月期第3四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

I .2017年3月期第3四半期の決算及び事業の概況





顧客満足度第1位

株式会社マネーパートナーズは、2016年12月1日発表の2016年オリコン日本顧客満足度ランキング「FX取引」において、第1位の評価を頂きました。

マネーパートナーズのFXの主な特長

パートナーズFX

7年連続「約定力」No.1
代用有価証券サービス

- ・・・公正・透明な約定価格の提供
- ・・・株式を担保に、現金無しで取引可能

パートナーズFXnano

「元祖」少額FX

- ・・・証拠金100円から取引可能

情報提供

トレードレポート
Webセミナー

- ・・・取引データを数値化し分析、アドバイスも掲載
- ・・・毎営業日、マーケットの状況やテクニカル分析等を配信





2017年3月期第3四半期 連結決算ハイライト

2017年3月期第3四半期(2016/10-12) 連結決算の総括とポイント

- ① 口座数は、前四半期末比4,326口座増加と堅調に増加。
 預り証拠金は、米国大統領選挙後の円安推移に伴い顧客損益が改善し4.4%の増加。

総口座数	290,820口座	2017/3期2Q末比	1.5%増
預り証拠金	61,201百万円	2017/3期2Q末比	4.4%増

- ② 外国為替取引高は、外国為替相場の変動率は総じて低調であったものの、米国大統領選挙後の円安推移に伴い個人投資家のリスク許容度が回復し、前四半期比4.3%増加。

10-12月取引高	2,293億通貨単位	2016/7-9月比	4.3%増
-----------	------------	------------	-------

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 営業収益は、外国為替取引高の増加に対してトレーディング損益が前四半期比微増にとどまったことから、前四半期ほぼ横這い(0.6%増加)の1,488百万円に。
 これにつれて経常利益も前四半期比13.7%増加の278百万円に。

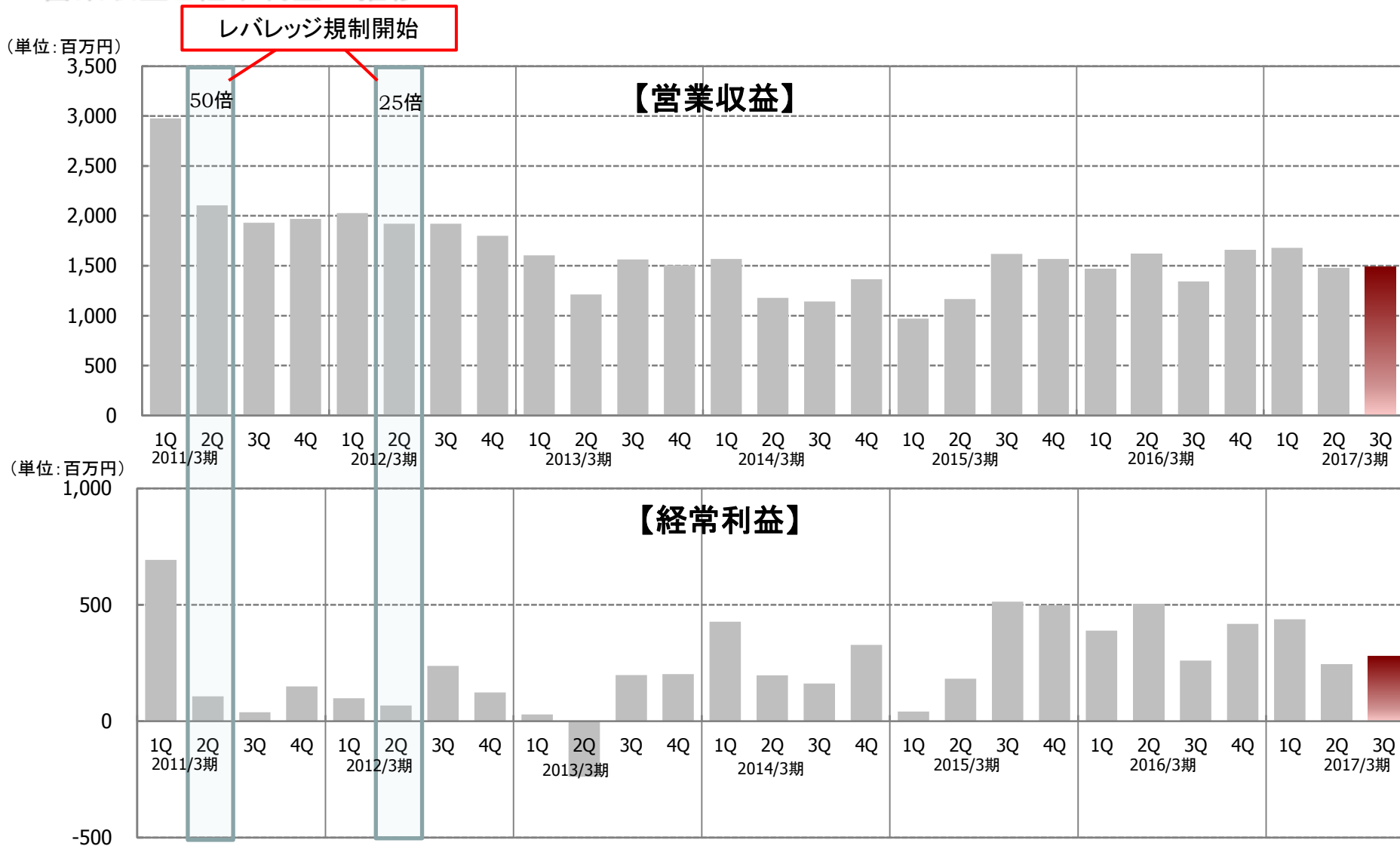
- ④ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、12月に発生した本社移転に伴う特別損失の計上13百万円があり、前四半期比10.5%増加の178百万円に。



レバレッジ規制開始以来の四半期業績推移

Money Partners Group

■ 営業収益と経常利益の推移





2017年3月期第3四半期 決算概況と影響ファクター

	2017/3期 2Q 【2016/7 ~ 2016/9】	2017/3期 3Q 【2016/10 ~ 2016/12】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	2,199億通貨単位	2,293億通貨単位	4.3%
営業収益	1,479百万円	1,488百万円	0.6%
経常利益	245百万円	278百万円	13.7%

【損益影響ファクター】

前四半期比

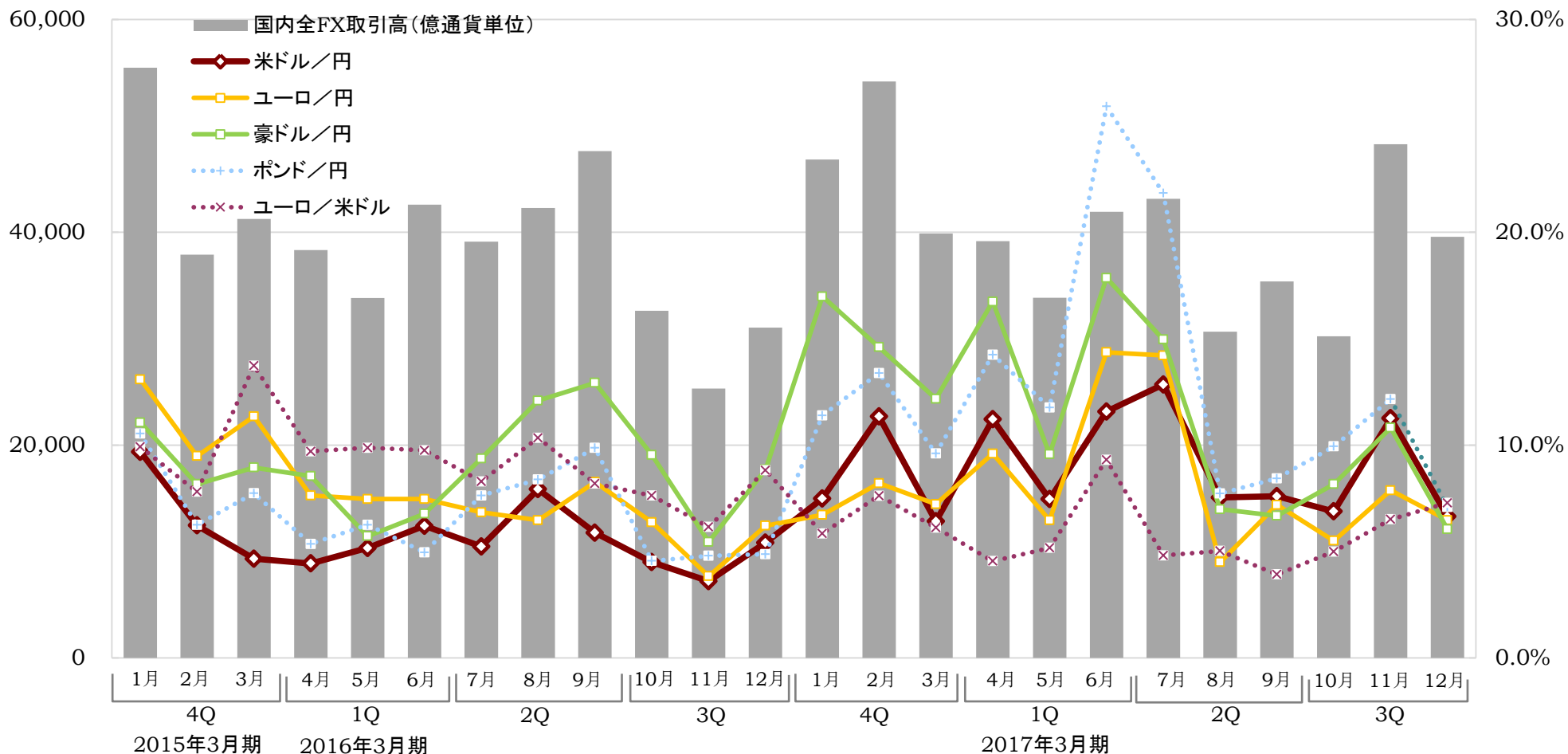
取引高 

収益性 

販管費 

- ・ 前四半期より減少傾向にあった豪ドル／円、ユーロ／円等の取引高は変動率の低下に伴い前四半期比更に減少。一方、米ドル／円の取引高は、米国大統領選挙をめぐる相場変動もあり、前四半期比大きく増加。取引高全体としては前四半期比4.3%の増加に。通貨別の内訳では、米ドル／円の割合は前四半期から更に増加し、全体の約74%を占める結果に。
- ・ 豪ドル／円やユーロ／円等相対的に収益性の高い通貨ペアの割合が減少した結果、絶対的には高い収益性を維持するも前四半期比収益性が低下。
- ・ 固定費の減少の一方、広告宣伝費等の増加により前四半期比ほぼ横這い。

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



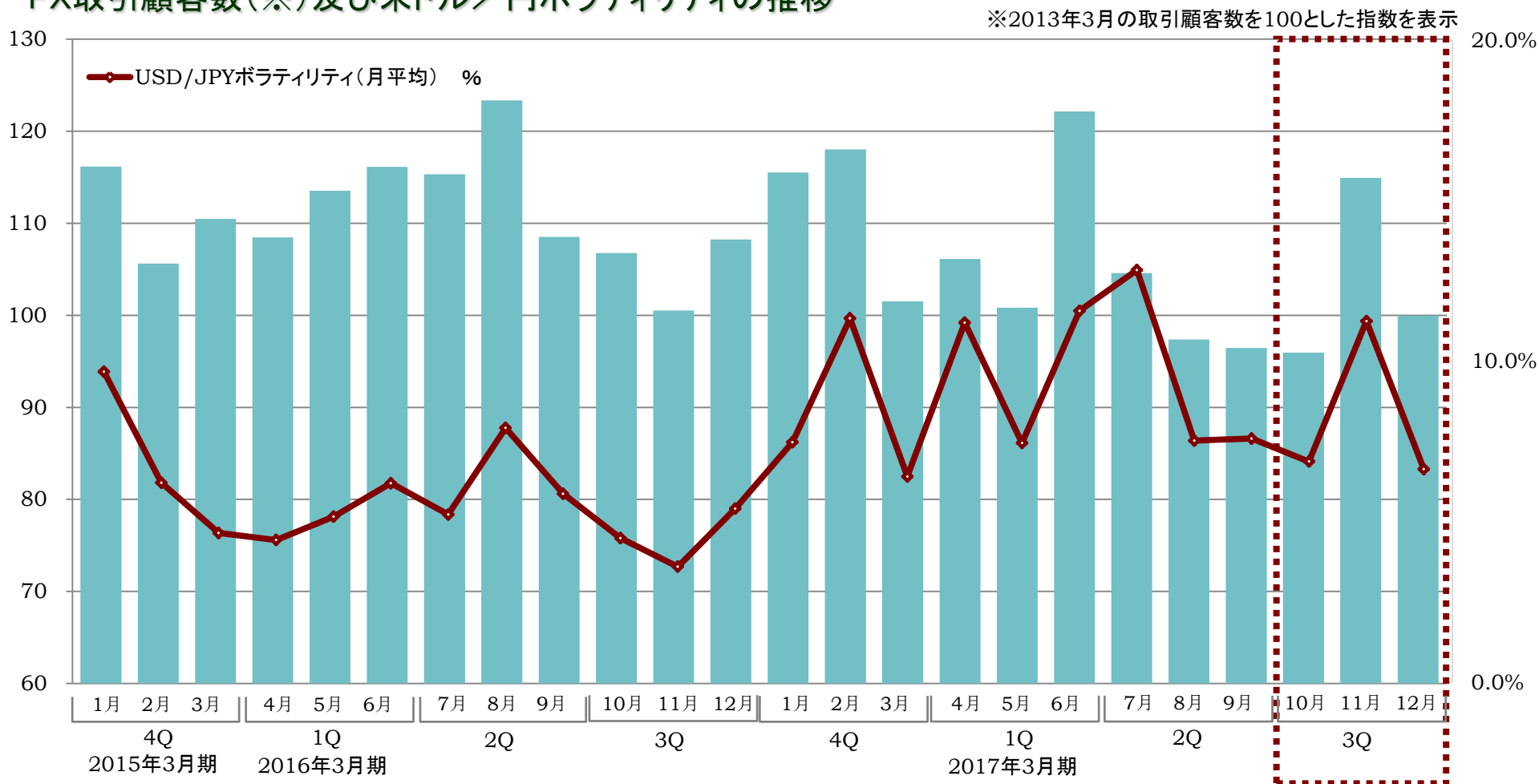
10月は日米金融政策を巡る思惑から方向感に乏しい相場展開となったものの、11月の米国大統領選挙を機にドルが買われ12月半ばにかけて急ピッチなドル高円安に。その後、年末にかけて調整相場となり、ボラティリティは低下。当四半期の国内FX取引高は前四半期と比べやや増加。



取引顧客数の推移

Money Partners Group

FX取引顧客数(※)及び米ドル／円ボラティリティの推移



6月の英国EU離脱国民投票、11月の米国大統領選挙等予想を覆す結果が相次いだことから、相場トレンドの見極めに慎重な姿勢も見られ、取引顧客数はボラティリティに比して低調に推移。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2015/3期	2016/3期				2017/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
営業収益	1,568	1,471	1,621	1,342	1,661	1,680	1,479	1,488	0.6%
受入手数料	4	5	15	14	19	17	27	21	▲20.7%
トレーディング損益	1,554	1,451	1,586	1,306	1,617	1,639	1,372	1,397	1.8%
金融収益	3	3	3	3	4	2	4	4	15.7%
その他の売上高	6	10	15	18	19	21	75	65	▲14.3%
金融費用	19	20	23	23	27	36	36	36	▲0.9%
売上原価	0	2	7	10	8	7	53	44	▲17.3%
純営業収益	1,548	1,448	1,590	1,308	1,624	1,637	1,388	1,407	1.4%
販売費・一般管理費	1,075	1,067	1,121	1,049	1,209	1,201	1,142	1,139	▲0.2%
営業利益	473	381	468	258	415	435	246	267	8.7%
経常利益	498	389	505	260	418	437	245	278	13.7%
税金等調整前四半期純利益	498	389	505	261	406	437	245	265	8.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	314	254	334	173	263	299	161	178	10.5%
営業収益経常利益率	31.7%	26.5%	31.1%	19.4%	25.2%	26.0%	16.6%	18.7%	

外国為替取引高の増加に対して、前述のとおり取引高当たり収益性は若干低下しトレーディング損益は前四半期比微増にとどまり、営業収益は前四半期比ほぼ横這いに。

営業利益、経常利益、四半期純利益は売上原価・販管費が微減となったことから前四半期比10%前後の増加。



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位:百万円

	2015/3期	2016/3期				2017/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
取引関係費	296	298	333	292	349	299	325	355	9.1%
人件費	245	235	245	239	257	252	266	253	▲5.0%
不動産関係費	158	156	155	165	181	170	176	164	▲6.9%
事務費	244	243	256	228	281	309	235	223	▲5.0%
減価償却費	96	91	89	89	99	98	93	93	▲0.1%
租税公課	21	21	24	23	30	33	30	36	16.8%
貸倒引当金繰入れ	—	0	6	▲0	▲0	0	▲0	—	—
その他	13	20	10	12	10	38	13	13	▲0.6%
販売費・一般管理費合計	1,075	1,067	1,121	1,049	1,209	1,201	1,142	1,139	▲0.2%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	118	122	141	106	105	106	122	160	30.6%
システム関連費用(※2)	330	319	343	318	385	396	335	327	▲2.5%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

<主な増減要因(前四半期との比較)>

取引関係費(増加): マネパカードのプロモーション活動強化等による広告宣伝費の増加

不動産関係費(減少): 本社移転に伴う賃料の減少

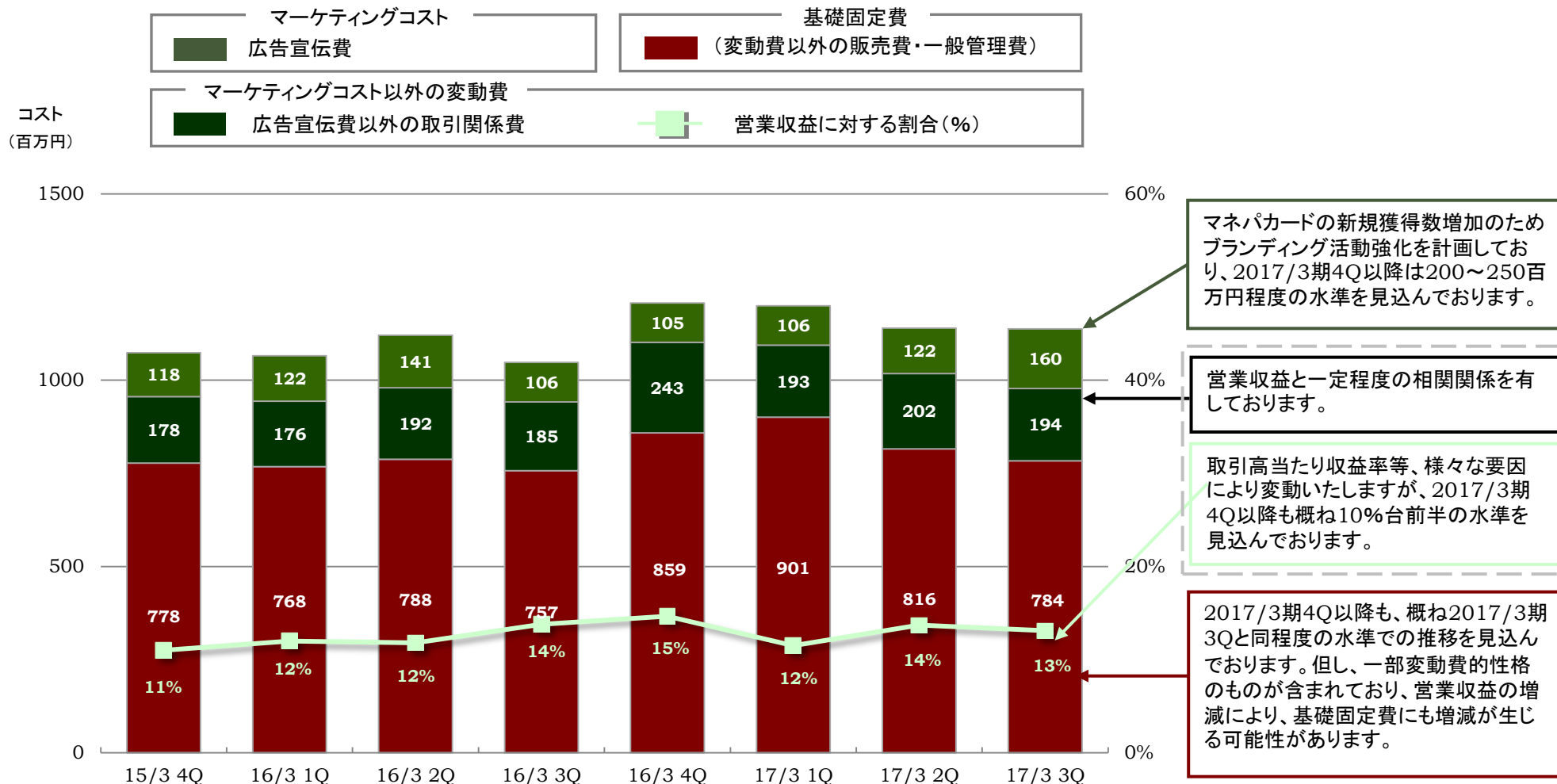
事務費(減少): システム関連費用の減少



四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

■ 主要な固定費・変動費の推移



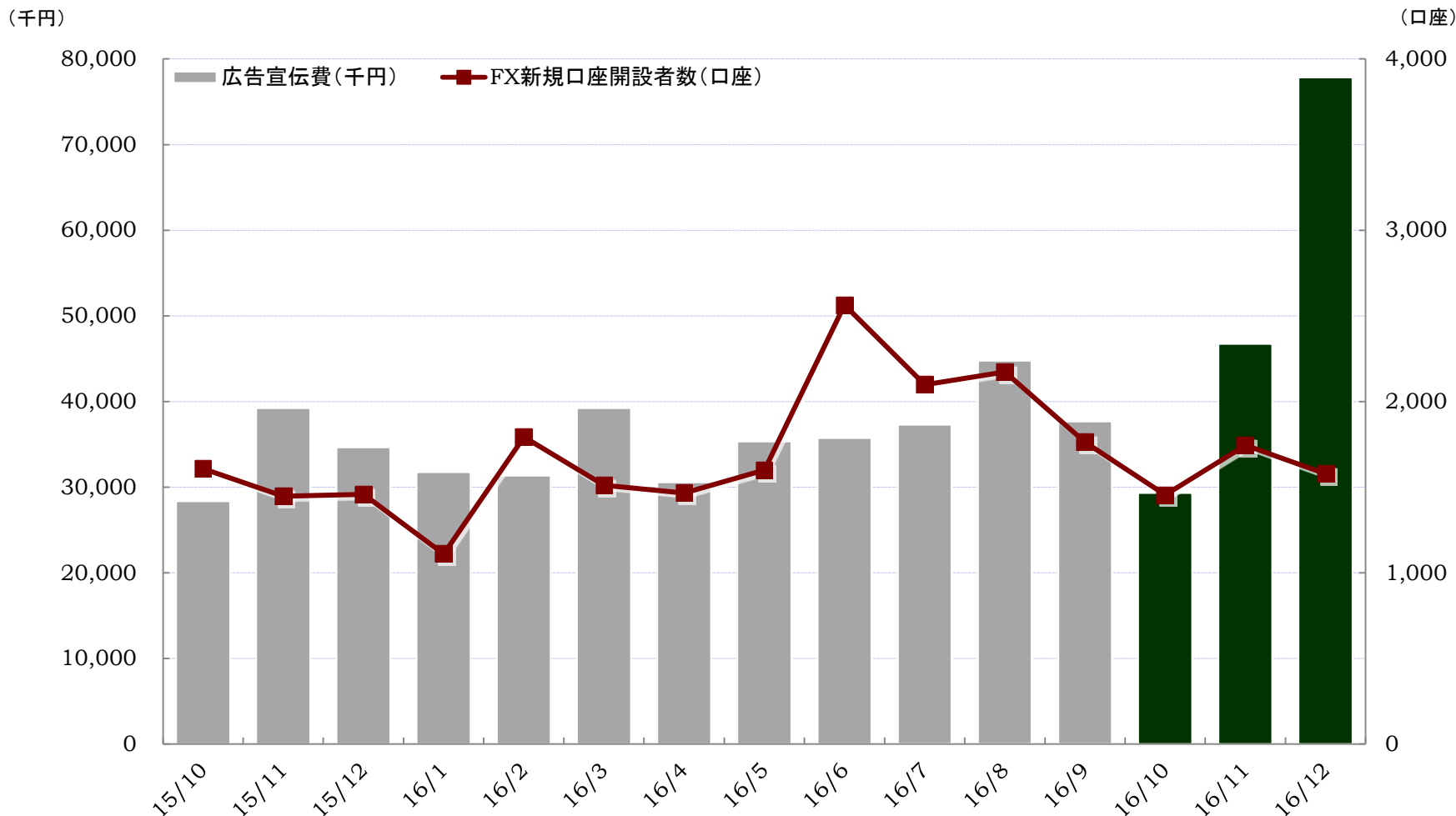
2017年3月期第4四半期以降も、マネパカードの増加ペースの拡大を計画しており、当面マーケティングコストの大幅な増加を見込んでおります。なお、2016年12月に実施の本社移転による固定費への影響は軽微であります。



月次広告宣伝費の推移

Money Partners Group

■ 広告宣伝費及びFX新規口座開設者数の推移



広告宣伝費は2016年11月よりマネパカードのプロモーション活動強化に伴い増加。
FX新規口座開設者数は効率を重視した広告宣伝活動により従前の水準を維持。



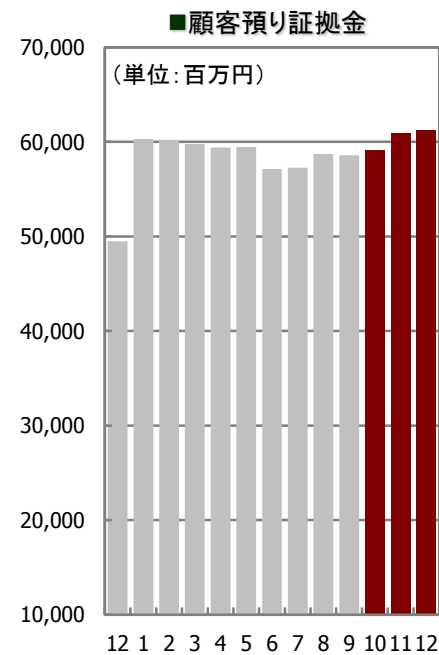
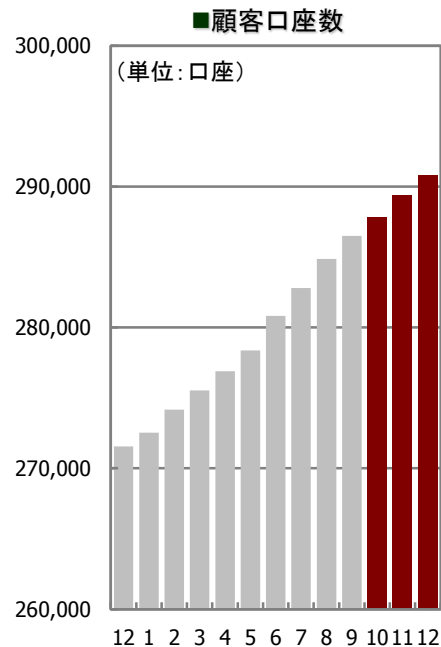
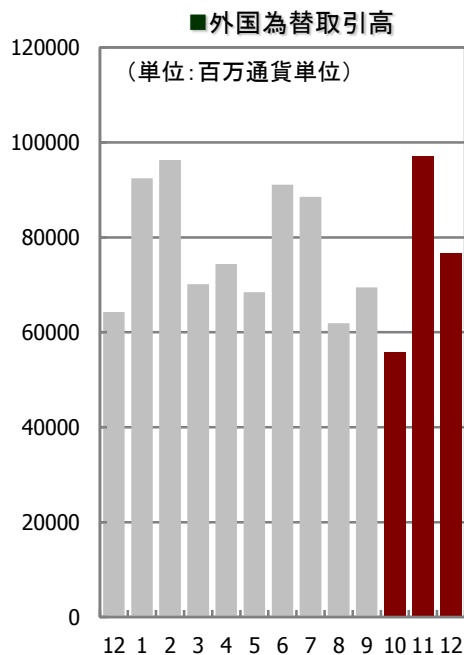
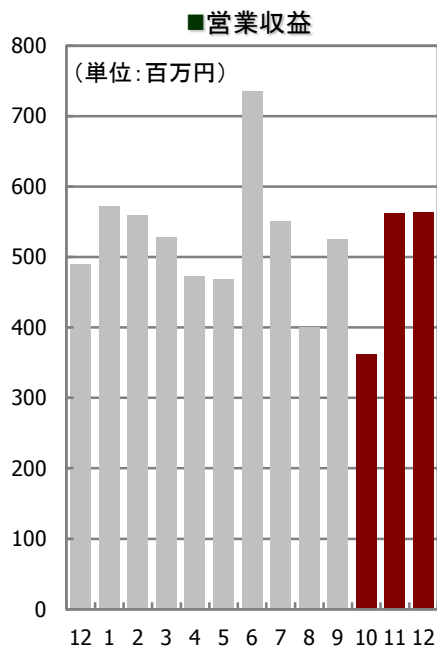
月次業績指標推移

Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2015年		2016年										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益(百万円)	490	572	559	528	473	468	738	551	401	525	362	562	563
外国為替取引高 (百万通貨単位)	64,288	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455	91,113	88,556	61,925	69,423	55,772	96,989	76,584
顧客口座数(口座)	271,544	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360	280,816	282,791	284,866	286,494	287,842	289,389	290,820
顧客預り証拠金(百万円)	49,480	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478	57,133	57,278	58,715	58,608	59,136	60,882	61,201
内、BtoB先金融法人	(省略)	11,072	12,274	11,373	10,588	10,205	8,668	8,900	9,541	9,562	10,148	11,423	12,000

※営業収益、外国為替取引高及び顧客預り証拠金には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



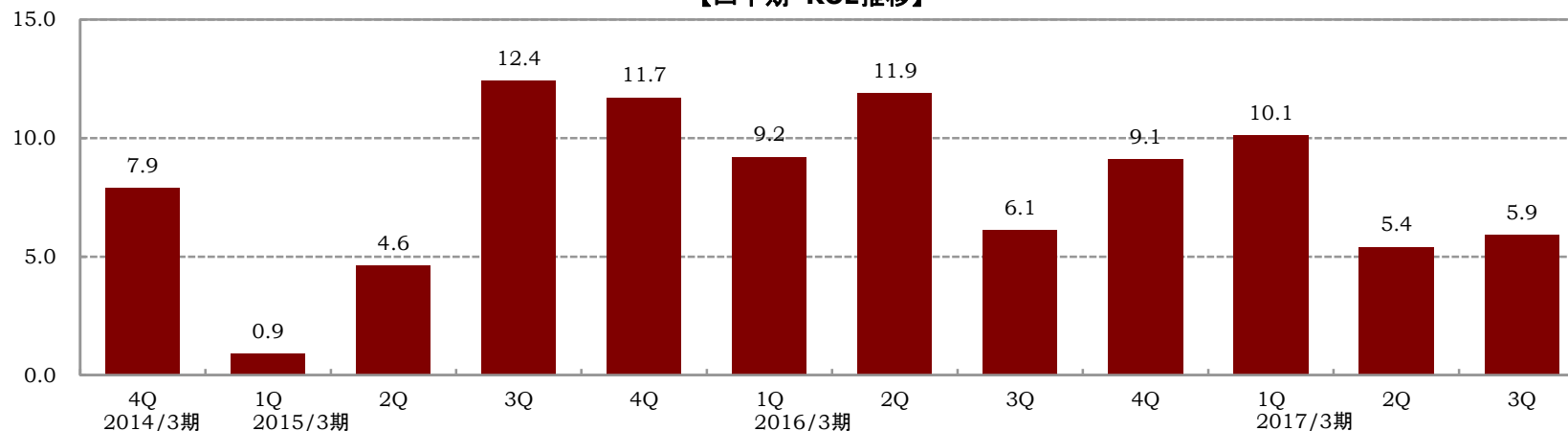


主要経営指標推移

Money Partners Group

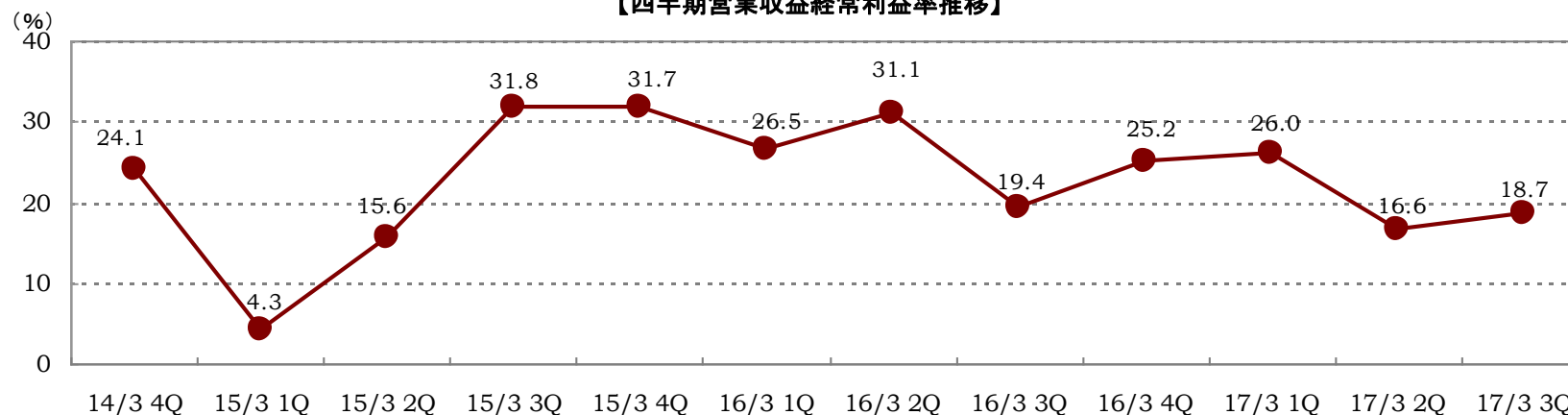
■ ROE及び営業収益経常利益率推移

【四半期 ROE推移】



※：四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

【四半期営業収益経常利益率推移】



Ⅱ.2017年3月期第3四半期の重点施策の進捗状況





当社グループの重点施策

重点課題

既存ビジネス

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

新たなビジネス・
サービスの事業化

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- 収益基盤の多様化とFX収益率の更なる向上

実需

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み

顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

収益

- ★ 収益性の継続的改善



重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

マネパカード

カード発行枚数拡大に向けたプロモーション活動

マネパカード宣伝部 THE (WEB) MOVIE

マネパカード宣伝部 予告編

マネパカード 作ってみた

マネパカード チャージしてみた

マネパカード 使ってみた

～人気アイドルグループ「欅坂46」の起用～

高還元率のおさいふカード!

国内で **0円でもサービスたっぷり!**

国内で **マネパカードは入会金/年会費無料!**

学生でも申し込みます!

15歳から入会OK! **与信審査なし!**

海外で使ってもお得!

両替もできちゃいます!

好きなタイミングで両替できる!

本最安!

電卓式 (単位:円)	電卓式	電卓式
7,360	5,840	
6,800	3,680	
1,220	500	
大 140円以上	最大 5,340円以上	
おトク!!	おトク!!	

外貨両替は日本の主要銀行の両替レートで算出。(当社調べ) 円から外貨への両替レートは、パートナーズFXレートに一定のコストを加えたレートで提供しており、加算部分が手数料に相当いたします。

外貨実需顧客層拡大のための主力商品として新規顧客獲得強化

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

FX

2016年オリコン日本顧客満足度
ランキング「FX取引」第1位を獲得



詳細は冒頭のトピックをご参照ください

顧客利便性・分かり易さの追求

ビットコイン

(社)日本仮想通貨事業者協会

仮想通貨交換業者を正会員とする自主規制団体を目指して活動している日本仮想通貨事業者協会(旧仮想通貨ビジネス勉強会)に正会員として積極的に参画。

「仮想通貨交換業」登録準備

12月に改正資金決済法に基づく内閣府令案・事務ガイドライン案が公表。改正資金決済法において登録制となった仮想通貨交換業について、法施行後速やかに登録を受けられるよう準備。

テックビューロ(株)との業務提携契約

今春からの連携サービス提供に向けて準備。

内閣府令案・事務ガイドライン案の骨子

- 分別管理
- 内部管理・内部監査
- 犯収法対応(本人確認)
- 帳簿書類整備
- 各種リスク管理態勢

→現在の資金移動業、金融商品取引業に準じる体制の整備が求められている

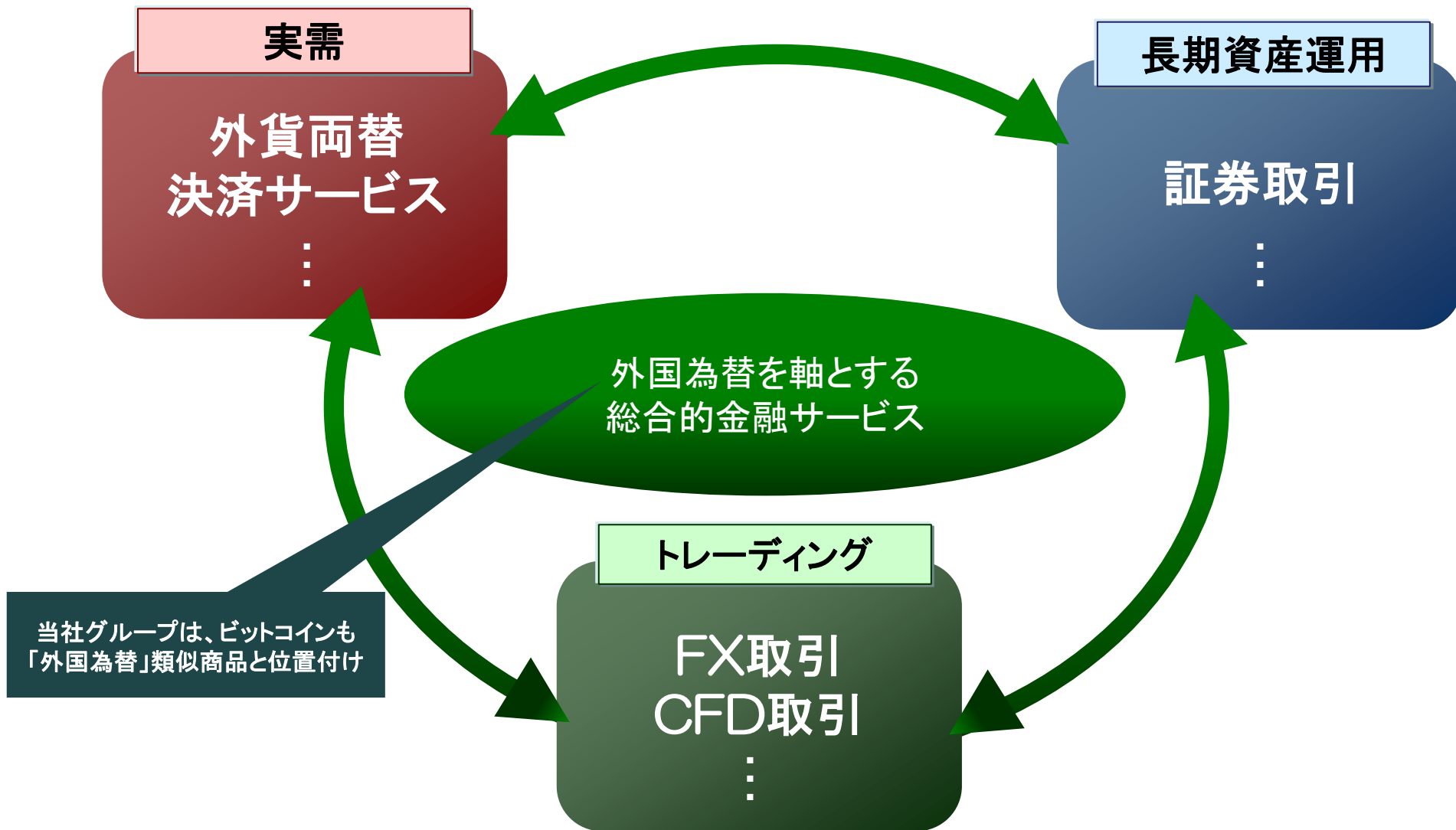
自社グループ取扱いに向けての準備

Ⅲ. 今後の目指すべき方向性





中長期的な経営戦略 ～独自ポジションの構築



IV. 当社の経営目標及び株主還元について





ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ ●2017年3月期第3四半期(2016年10～12月)のROEは5.9%

※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。

ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ ●2017年3月期第3四半期(2016年10～12月)の営業収益経常利益率は18.7%



株主還元について

Money Partners Group

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末**（年2回）

	2016年3月期				2017年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益(百万円)	254	334	173	263	299	161	178	
上段: 3ヶ月	254	588	761	1,025	299	460	639	
下段: 累計								
配当金の総額 (百万円)	168		169		130			
期末発行済 株式総数(株)	32,616,900 (内、自己株式2,002,300)		32,795,900 (内、自己株式2,002,300)		33,763,500 (内、自己株式1,202,300)			
1株当たり 配当金	中間・期末	5.5円		5.5円		4.0円		
	年間	11円						



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの場合は、取引の額の1%以上の額で、証拠金の約100倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会
一般社団法人日本資金決済業協会

2017年3月期第3四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ